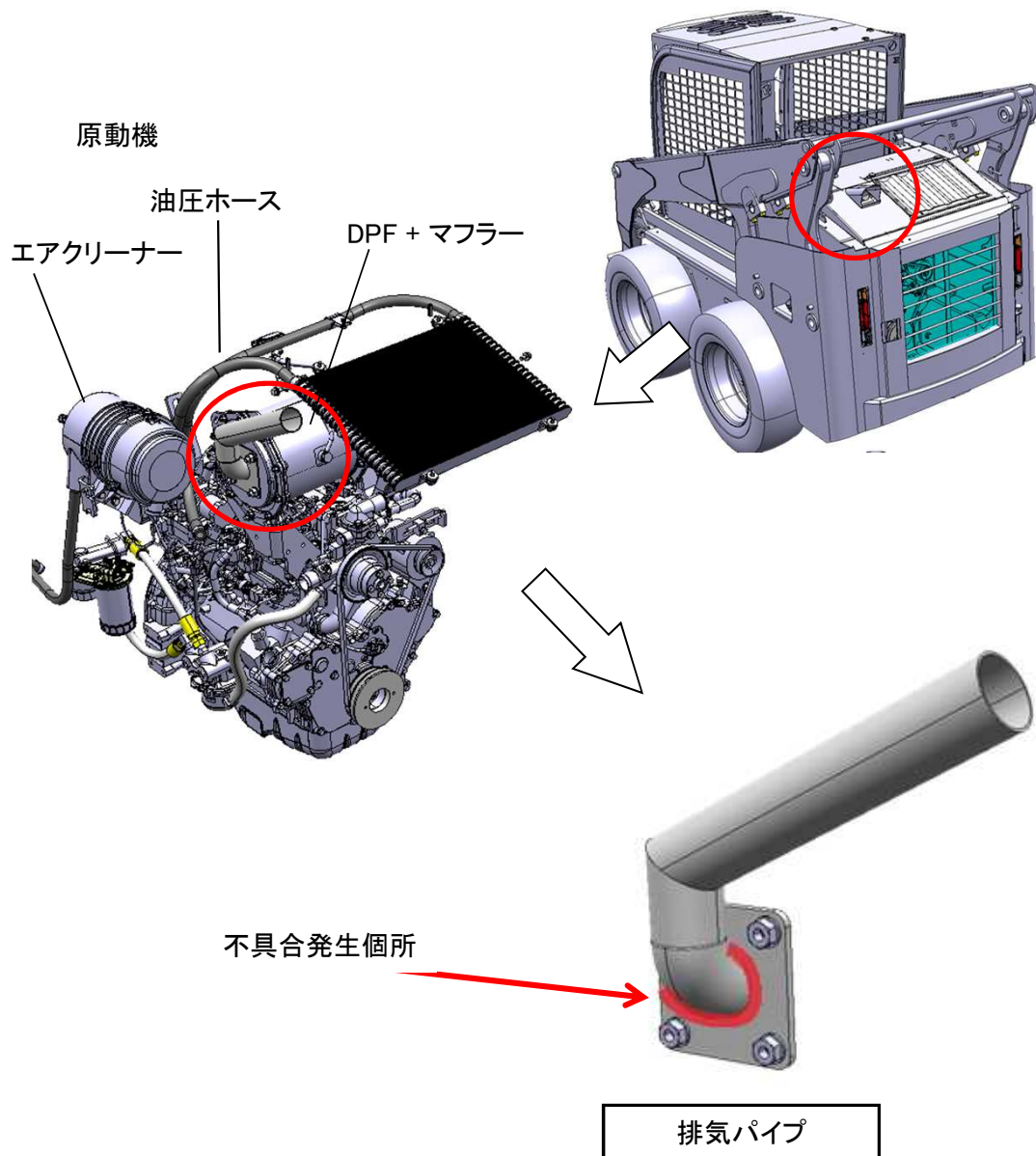


改善箇所説明図



不具合の内容

マフラーのテールパイプにおいて、テールパイプの溶接指示が不適切なため、パイプの取付強度が不足し、エンジン振動により、溶接部に亀裂が発生することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けるとテールパイプが脱落し、マフラーから排出される排気熱によりエアクリーナケースや油圧ホース（走行兼荷役用）が溶損し、作動油が漏れ、走行不能となるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、排気パイプを対策品に交換する。なお、当該部位の周辺を点検し、エアクリーナケース、油圧ホースに損傷がある場合は、当該部品も交換する。

注: は措置する部品を示す。